

Angle アングル



サッカーJリーグ担当審判員として活躍
勝又 弘樹さん (公文名2・38歳)

「選手から“ナイスレフリー”と声を掛けられたり、サポーターから拍手を贈られたりすることが、うれしいです」と話す勝又さん。市内に住んでいる方で唯一、サッカーJリーグ担当審判員として活躍しています。

日本のサッカーの審判制度は“4級”から“1

級”までの4つの階級があります。1級の中でもトップクラスの審判員はJリーグを担当します。1級審判員の資格を所有する勝又さんは、昨年からJリーグの副審担当になり、今年で2年目。これまでにJリーグの副審として68試合の審判経験があります。その内、J1リーグの副審も19試合行っています。「サポーターからの声援はうれしい反面、判定に対する言葉は厳しいです。メンタル的に不安になることもあります。負けないように自分のやるべきことをしっかりやることを心掛けます」と語ります。

平日は、会社員として働く勝又さんは、休日を利用し審判員の活動をしています。「家族の理解があるからこそできる活動です。試合には、子どもたちと一緒にいけません。テレビに映る父親を見て喜んでくれます」と笑顔。「J1審判を100試合担当すると表彰されるので、家族と一緒にセレモニーに出席したいです」と勝又さん。「審判員の活動しながら、情報発信することでサッカーの楽しさを伝え、この地域から一人でも多くのJリーグの審判員に登録できるように若者の育成をしていきたいです」と抱負を話します。今後の活躍を期待しています。



市民文化センターNAVI

6月の休館日

4日(月)・18日(月)

☎ 993-9300

大ホールひとりじめ スタインウェイを弾こう

反響板とコンサート照明が設置されている大ホールの舞台上、ピアノの名器“スタインウェイ (D-274)”や自分の楽器(アコースティックのみ)の演奏ができます。

と き / 6月22日(金)、7月20日(金) 9時~21時

※25分1区分で1日最大4区分まで申し込み可

料 金 / 1区分 1,000円

申し込み / 市民文化センターへお申し込みください。

※電話可



富士の彩る 裾野を

富士山資料館

☎ 998-1325



富士山と美女

平安初期、度重なる富士山の噴火を鎮めるために浅間大神が祭られ、周辺各地に浅間神社が建立されました。浅間大神は後に、絶世の美女である木花開耶姫と考えられました。平安時代の書『富士山記』に、「山頂で2人の美女が舞っていた」という話が出ています。これに似た話が、1813年の『富士峯神女覚書』に残されています。

「1800年4月28日の七つ時頃、下和田村名主幾右衛門の娘すぎと百姓儀助の娘らんが桑を取りに行った際、一本杉という場所でふと富士山を見上げたところ、年の頃14・5歳と思われる女子1人を見た。また百姓儀兵衛も同様に山上の女子を見た。村人が娘2人に詳しいことを聞いたところ、衣服・色などははっきりしないが、女子はあちこち動いていたとのことであった」と記されています。



『富士峯神女覚書』
(須山御師渡邊家文書)

